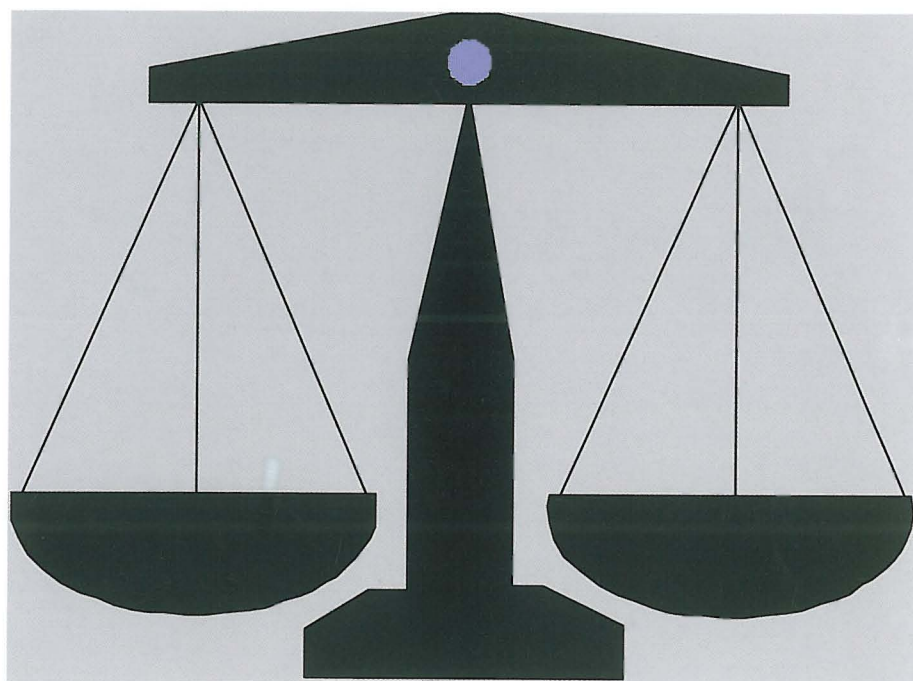


保健管理センター年報

第 3 号

2006. 7. 1



北海道医療大学

保健管理センター年報発行にあたって

学 長 松 田 一 郎

この度、保健管理センター長 家子正裕教授のお力により北海道医療大学保健管理センター年報が出来上がり、皆様にお届けできることになりました。

これまでも機会あるごとに、前廣重力学長が掲げてこられた「新医療人の北の拠点を目指す」とする行動計画を基礎に、人命を尊重し、個人の尊厳を守り、熟達した専門技術を通じて、患者、クライアントの不安・苦痛を和らげることのできる優秀で、心優しい保健・医療・福祉のプロフェッショナルを育成することが本学の使命であると述べてきました。

こうした目標達成のために必要な基本的課題のひとつが本学学生の健康管理の問題です。当然ながらこの中には身体的な保健管理だけでなく、精神面でのサポートも含まれます。近代の豊かな物質文明はともすれば脆弱な精神構造を生むのでは、と危惧する声をしばしば耳にします。本学の学生の場合も例外ではないでしょう。今回の報告内容を読むと、年々保健管理センターの利用者が増加し、平成17年度は平成15年度の2倍近くになっているのがわかります。また利用状況についての報告でも精神面でのサポートが重要であり、またそれを必要とする学生数も増加傾向にあることが指摘されています。幸い本学には心理学部があり、学生の精神面での問題に対応することが可能ですし、そのための制度も作られました。今後の支援活動が期待されます。

学生中心の環境を作り、本学学生が安心して学生生活を送ることができるように、これからも皆さんの協力をお願いする次第です。特に、家子正裕センター長にはこれまでの学生諸君への愛情ある適切な対応に感謝するとともに、今後も「学生のために」をキーコンセプトにご尽力をお願いしたいと存じます。

目 次

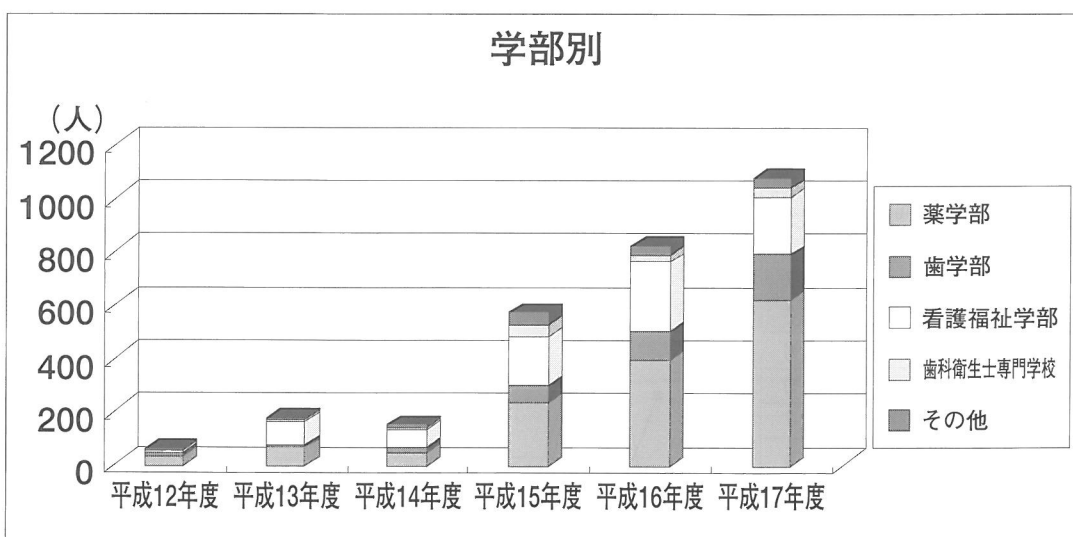
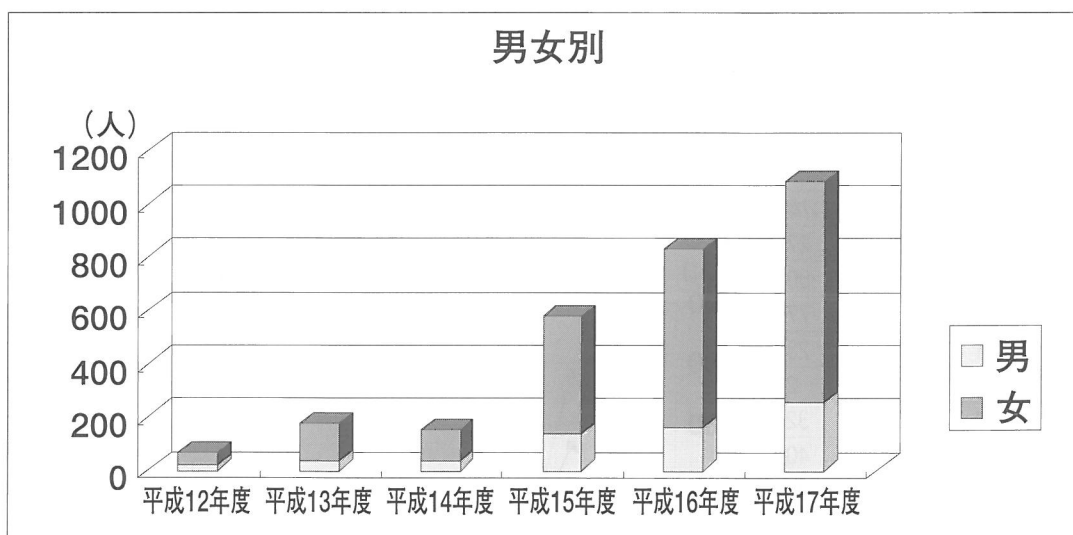
I	年報発行にあたって	学 長 松田 一郎	1
II	保健管理センター利用状況の推移		
	1. 年度別保健管理センター利用状況		3
	2. 保健管理センター利用状況		4
III	平成17年度保健管理センター利用状況		
	1. 保健管理センター利用状況		6
	2. 保健管理センター利用月別状況		7
IV	保健管理センターに関する所感	担当保健師 長谷川純子	8
		黒田なをみ	9
V	保健管理センター運営委員会よりひとこと	学務部長 飛岡 範至	11
VI	学生健康診断受診状況の推移		
	1. 年度別受診率		12
	2. 学部別・検診別受診状況	①内科検診	13
		②胸部レントゲン検査	14
		③歯科検診	15
VII	平成17年度学生健康診断受診状況		
	1. 健康診断受診状況（学生）		16
	2. 学部、学年別・検診別受診状況		
		①内科検診（学部生）	17
		②胸部レントゲン検査（学部生）	18
	3. 健康診断有所見者状況		19
	4. 血液検査結果	①有所見者状況	20
		②感染症検査結果	21
VIII	平成18年度行事予定		
	1. 行事予定		22
	2. 健康診断実施対象		23
IX	終わりに	保健管理センター長 家子 正裕	24

Ⅱ 保健管理センター利用状況の推移

1. 年度別利用状況

(人)

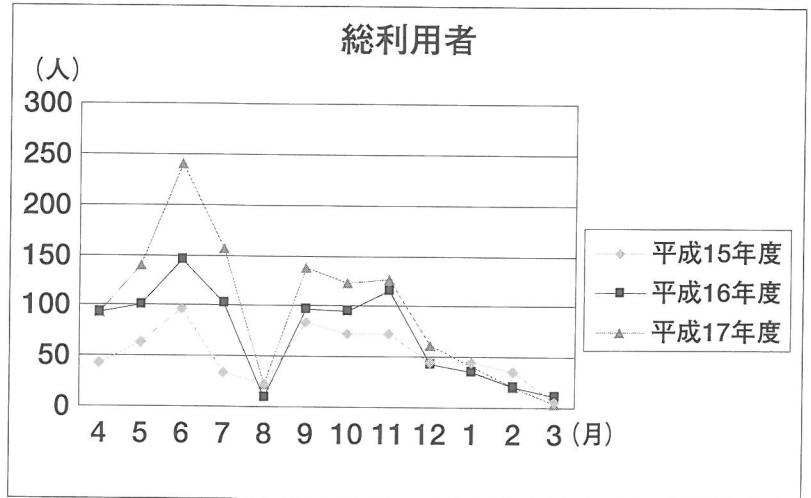
	男女別			学部別						総利用者		開所 日数	1日 平均	1月 平均	備考
	男	女	計	薬学部	歯学部	看護福祉学	歯科衛生士専門学校	その他	計	検査票	総計				
平成12年度	23	42	65	33	15	8	1	8	65		65	99	0.7	5.9	週3日(火・木・金)5月～
平成13年度	37	143	180	69	9	89	6	7	180		180	131	1.4	15	週4日(月・火・木・金)
平成14年度	34	121	155	50	21	67	8	9	155		155	130	1.2	12.9	〃
平成15年度	136	441	577	237	69	183	42	46	577	36	613	192	3.2	51.1	週5日保健師2人体制
平成16年度	164	666	830	400	108	261	25	36	830	39	869	186	4.7	72.4	〃 ベッド2台
平成17年度	255	830	1085	624	172	218	31	40	1085	82	1167	185	6.3	97.3	



2. 保健管理センター利用状況

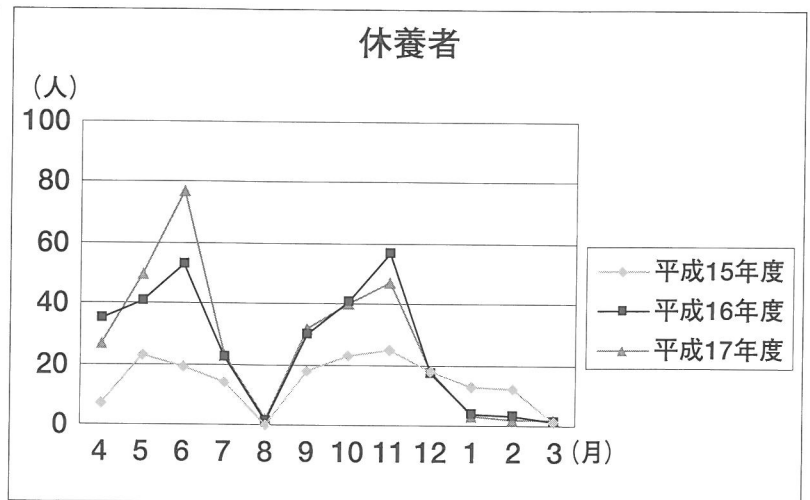
1) 総利用者 (人)

月	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4月		42	93	94
5月		64	101	139
6月		96	146	241
7月		34	103	157
8月		22	10	22
9月		83	96	137
10月		72	95	123
11月		72	115	126
12月		44	42	62
1月		44	35	41
2月		35	21	21
3月		5	12	4
計		613	869	1167



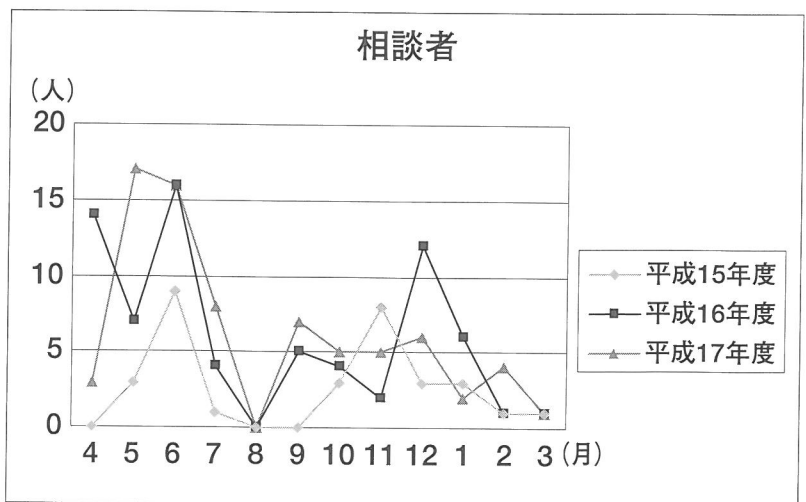
2) 休養者 (人)

月	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4月		7	35	27
5月		23	41	50
6月		19	53	77
7月		14	22	23
8月		0	1	2
9月		18	30	32
10月		23	41	40
11月		25	57	47
12月		18	17	18
1月		13	4	3
2月		12	3	2
3月		1	1	2
計		173	305	323



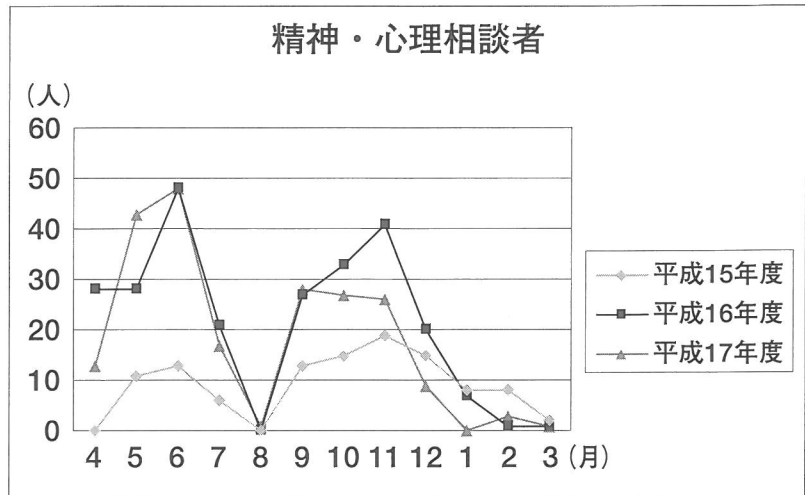
3) 相談者 (人)

月	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4月		0	14	3
5月		3	7	17
6月		9	16	16
7月		1	4	8
8月		0	0	0
9月		0	5	7
10月		3	4	5
11月		8	2	5
12月		3	12	6
1月		3	6	2
2月		1	1	4
3月		1	1	1
計		32	72	74



4) 精神・心理相談者 (人)

月 \ 年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
4月	0	28	13
5月	11	28	43
6月	13	48	48
7月	6	21	17
8月	0	0	1
9月	13	27	28
10月	15	33	27
11月	19	41	26
12月	15	20	9
1月	8	7	0
2月	8	1	3
3月	2	1	1
計	110	255	216



Ⅲ 平成17年度保健管理センター利用状況

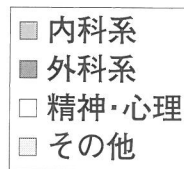
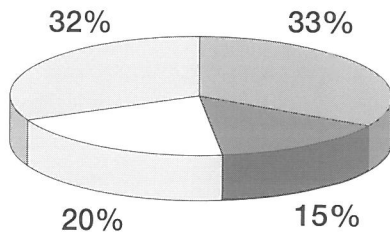
1. 保健管理センター利用状況

(人)

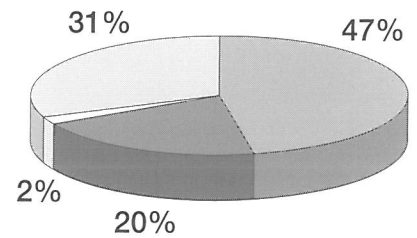
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		大学院		他		小計		計	学部別					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		薬学部	歯学部	看護学部	福祉学部	衛生士専門学校	他
内科系	風邪症状	32	26	4	21	22	27	6	9		2				2	2	66	87	153	79	40	28	2	4	
	消化器系	5	23	1	13	6	20	5	5					3		7	17	71	88	58	6	16	2	6	
	循環器系							5							1		6	0	6	5				1	
	頭痛	3	10	2	7	3	5	5	1		1			1	1	15	24	39	27	9	1			2	
	その他	4	11	1	17	7	13	3	9				1	3	2	4	18	57	75	43	9	17		6	
外科系	切創 他	3	10	5	12	11	13	2		1			1			23	36	59	35	11	10	2	1		
	打撲 他	6	11	3	10	4	8		1	2			1			13	33	46	19	9	15	3			
	筋肉痛他	1	4		3	2	2									3	9	12	3	3	5	1			
	その他	4	3	5	8		13	2	4					1	2	12	30	42	29	6	4	1	2		
精神・心理	1	60		36	3	114			2						4	212	216	164	42	9	1				
他	生理痛		18		28		27		8	1				3	3	0	88	88	60	6	18	1	3		
	歯痛	1		1			2	1								3	2	5	4	1					
	検査結果	12	46	5	16	7	14	18	36	4	2	1	2		2	47	118	165	44	22	79	18	2		
	その他	2	13	2	5	10	30	6	5		1			2	7	8	28	63	91	54	8	16		13	
小計	74	235	29	176	75	288	53	78	4	10	3	2	2	12	15	29	255	830	1,085	624	172	218	31	40	
身体検査票利用	2	3		4	11	6	18	29	1	1	2		3	2		37	45	82	7	5	70				
処遇	ベッド休養	12	82	1	52	20	124	6	8	2			1	3	7	5	47	276	323	225	53	29	3	13	
	与薬	23	59	6	52	20	61	16	17	2	1		7	1	6	67	204	271	174	39	49	3	6		
	処置	36	54	10	54	28	61	16	14	5			2	4	2	94	192	286	153	60	59	8	6		
	受診	1	6		1	6	3	2	1					1	1	10	12	22	12	6	2		2		
	受診勧奨	6	6	2	13	6	9	3							3	17	31	48	27	8	9	1	3		
	相談	3	24	1	20	4	19	2							2	10	65	75	44	16	14		1		
	その他	13	29	9	27	15	77	9	22		4	1		1	4	1	10	49	173	222	147	29	30	7	9

センター開所日数 185日 (長谷川105 黒田80)

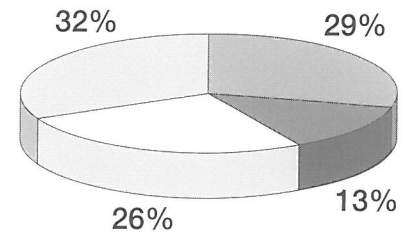
主訴別利用状況



男子学生



女子学生

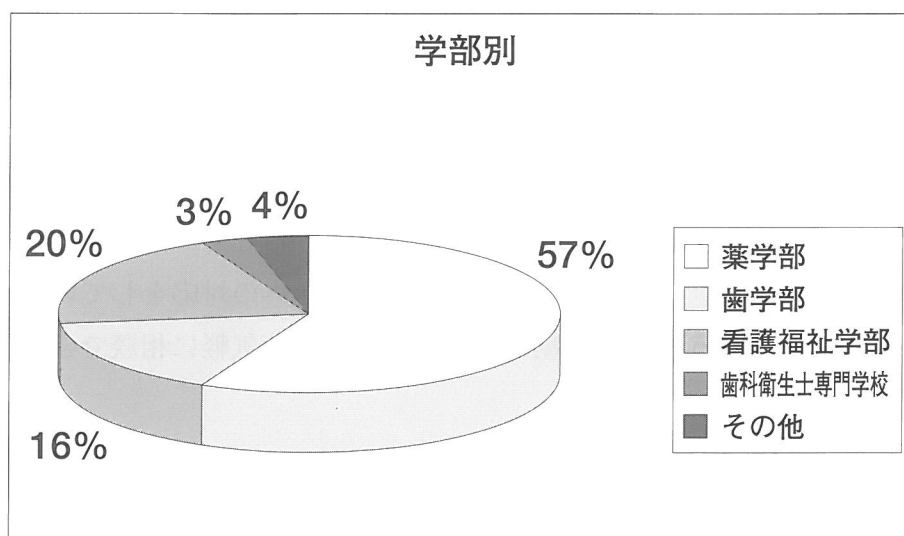
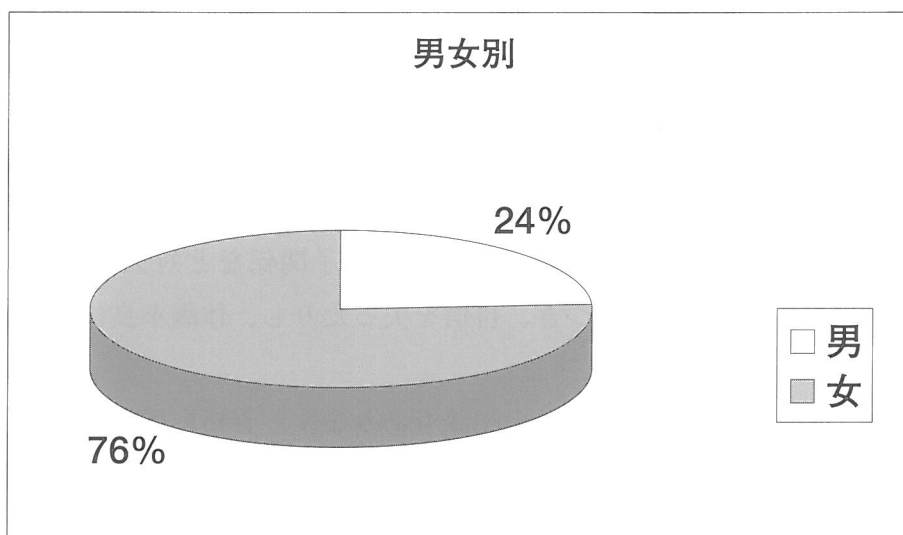


2. 保健管理センター利用月別状況

(人)

	男女別			学部別						総利用者		開所日数 (日)	備考
	男	女	計	薬学部	歯学部	看護福祉学部	歯科衛生士専門学校	その他	計	検査票利用	総計		
4月	18	76	94	65	15	10	1	3	94		94	17	
5月	23	113	136	90	21	13	7	5	136	3	139	19	
6月	39	158	197	116	28	39	4	10	197	44	241	21	
7月	32	117	149	61	22	57	8	1	149	8	157	11	
8月	4	17	21	12	5	0	3	1	21	1	22	8	
9月	30	93	123	74	25	19	1	4	123	14	137	20	
10月	23	98	121	71	14	29	2	5	121	2	123	19	
11月	41	84	125	72	23	23	3	4	125	1	126	20	
12月	20	34	54	31	15	5	1	2	54	8	62	7	
1月	18	23	41	19	3	17	1	1	41	0	41	15	
2月	6	14	20	11	1	5	0	3	20	1	21	20	
3月	1	3	4	2		1		1	4	0	4	8	
計	255	830	1,085	624	172	218	31	40	1,085	82	1,167	185	

1日平均 6.3人



Ⅳ 保健管理センターに関する所感（担当保健師）

保健管理センターを担当して

平成12年5月から保健師として保健管理センターを担当して、6年が過ぎました。当初は週3～4日の開所であったこともあり、保健管理センターの存在を知らない学生も多かったようです。利用した学生から、「保健室、あったのですね。」「あるの、知らなかった。」「休むところができ、良かった。」などの声が聞かれました。

平成15年度から担当保健師が2名となり、月曜～金曜まで毎日開所できるようになり、また入学時のガイダンス、学生便覧などで学生にも周知され、利用者が毎年増加しています。

来所する学生は、頭痛・腹痛・風邪症状などで薬や休養希望、体調不良の主訴で休養希望、けがの処置、悩みの相談など多種多様の対応が求められています。特に4～6月には多くの学生が利用し、保健管理センターは一部屋のため休養と相談等で重なり、保健師一人では対応できない事も多くなり、来所した学生に申し訳なく思っています。

学生の悩みは、友人関係（同学年・部活動）、親子関係など対人関係等、自分の進路、病気等さまざま、悩み、傷つき、自信を失ったりし、体調不良になることも多いようです。

最近、自分はどううつ病ではないかとの相談もあります。資格取得目的の学部、学科のため実習・実験などの緊張や、体調不良でも休めない授業も多く、学生の緊張やプレッシャーは大きいように思います。

保健管理センターに来所し悩みを相談や愚痴として表現できる学生はまだ良く、必要に応じて、受診を勧めたり、心理相談を勧めたりしています。悩みなどを表現できずにいる学生がまだ多くいるのではないのでしょうか。利用者の中には、体調不良で休養希望したり、頭痛などで何度も薬を希望したりと、心理的要因もありそうな暗い表情の学生もいます。何度も来所し、ようやく重い口を開くということもあります。

保健管理センターでは、このような点を踏まえて学生への対応をしていき、学生生活がより良いものになるよう、学生の駆け込み寺のような、気軽に相談でき、安心できる場所としてありたいと思っています。

長谷川 純子

保健管理センター利用状況の変化と学生の傾向

平成15年から17年にかけての利用状況をみると、年々利用が増加している。さまざまな要因が考えられる中で、特に精神・心理に関する相談が多くなっている。データでは延べ人数として集計されているが、そこには一部特定の個人の利用回数が多いと言う側面がある。各学年を通してそのような個人を考えてみると、一人一人はそれぞれ違った悩みをかかえているものの、大学生活における共通の傾向というものが見て取れるように思われる。

①入学後前期から1年にかけて～地域、親元を離れた新しい生活、対人関係等の環境の変化に適応することの難しさ、あるいは不本意な入学などの理由によって、抑うつ的傾向となったり、心のバランスをくずし、感情の起伏も大きい。

②2、3年にかけて～心理的要因もありそうだが原因のはっきりしない体調不良、頭痛、腹痛など。セルフコントロールしながら保健センターを利用しつつ現状維持している様子がうかがわれる。

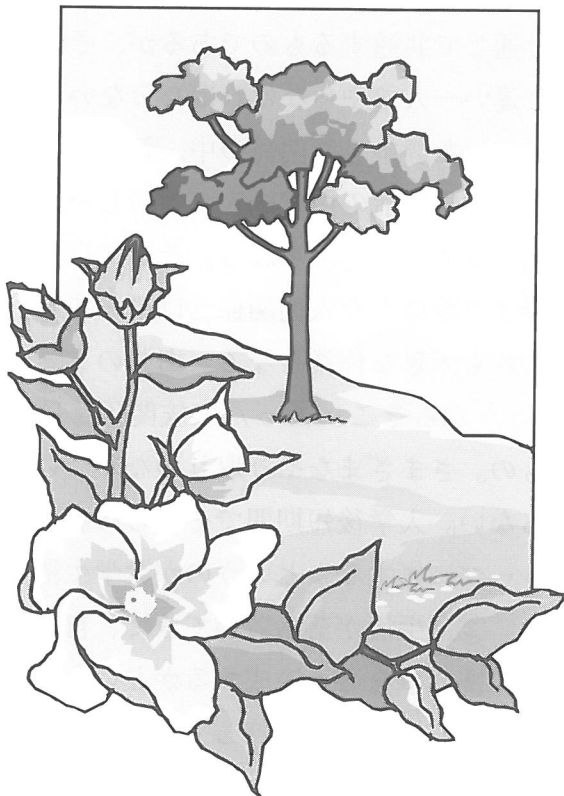
③4年以上の学年では休養という利用の仕方であり、精神・心理の相談という側面はうすれてくる。

これらの特徴を大学生活における心理的な課題として、とらえなおしてみると①は物理的にも心理的にも大きな変化にみまわれる新しい環境に、適応していくことに相応する。これは青年期にかぎらず成長発達各段階を通して共通するものであるが、それを家族に支えられながらおこなってきたこれまでと違い一人でやらなければならないという点に大きな違いがある。例えば、家族や友人といった馴染んだ関係の中、親の意向や期待に沿って生活してきたように思われる学生は、大学生活の中で一人で判断し一人で決定していくという行為に自信が持てず不安に陥りやすいと考えられる。そこで自分を支える上で家族に代わって、友達を熱望する。今まで馴染んだ人間関係とは違って新しく築き上げなければならない対人関係なので、これも困難な作業となる。ありのままの自分でいられる友達関係を欲するが、生まれたときからそこにあった家族関係とは違い、自分から求めて作り上げなければならないもの。さまざまなやり取りのなかついたり離れたりしながら試行錯誤を重ねなければならない。入学後短期間でそれらに疲れてしまうというのが現状のようだ。自分がどのグループに属するかというのが大学生活における死活問題でさえあるかのように必死である。②は生活が落ち着いてきて、自分の関心が絞られてきている時期に相応している。その関心事をどう達成するかということに向かって、ストレスをセルフコントロールしながら心身状態を維持していくことが課題となる。③は卒業という最終段階にむけて学業の成果を出しつつ、対人関係の維持、発展をめざす自己実現の時期。疲れて体調をくずさないよう休養やその他によってバラ

ンスをとること等が大切になる。

保健管理センターでは学生のこのような傾向を踏まえつつ対応している。特に①においては身近に家族友人がいなくて一人不安に陥ったときの避難所であり環境への適応を見守りながらアドバイスする。この時期をスムーズに乗り越えられることがその後の学生生活にとって重要な契機となることをあらためて認識している。

黒田 なをみ



保健管理センター運営委員会よりひとこと

保健管理センター運営委員

学務部長 飛岡 範至

本学保健管理センター規程の目的に、「保健管理センターは、本学園の学生及び職員の保健管理に関する業務を行うことを目的とする」と記載されています。そして、その事業として、保健管理事業及び健康相談事業が掲げられるとともに、大きな業務として、保健管理業務と健康相談業務が定められています。生涯にわたる健康の礎を築くために、自分の健康は、自分の責任で管理しなければならないことは勿論ですが、それを支援しているのが保健管理センター（以下「センター」という）であると言うことができます。特に、学生にとって、充実した大学生活を送るために、センターは、身近な“健康相談所”として、その存在は大きな意味を有しています。

本年報のデータでも示されているとおり、センターの利用者の多くは学生ですが、平成16年度では前年度比約1.4倍、平成17年度では同約1.3倍と、年々増加しています。そして、利用者の中でも、精神的・心理的な問題を抱え訪れる学生が多くなってきています。このような状況で、身体面、精神面の両面にわたり、多忙にもかかわらず、家子センター長をはじめとする医師、さらには、長谷川保健師、黒田保健師の方々のご支援により、センターが運営されていることは、事務局としても大変心強く思うと同時に、深甚の謝意を申し上げる次第です。

多様化する学生に対する身体面、精神面、両面にわたる健康管理・健康相談活動の充実に向け、私ども事務局職員としても、いかにお力添えできるか課題が多いことを痛感しております。幸いにも、メンタルヘルスケアに関しては、札幌あいの里キャンパスにおいて、専門カウンセラーによる支援がスタートいたしました。当別キャンパスでも、間もなくその体制が整備されるまでに漕ぎつけることができました。これもひとえに係る皆様のご尽力によるものと、重ねて御礼申し上げます。

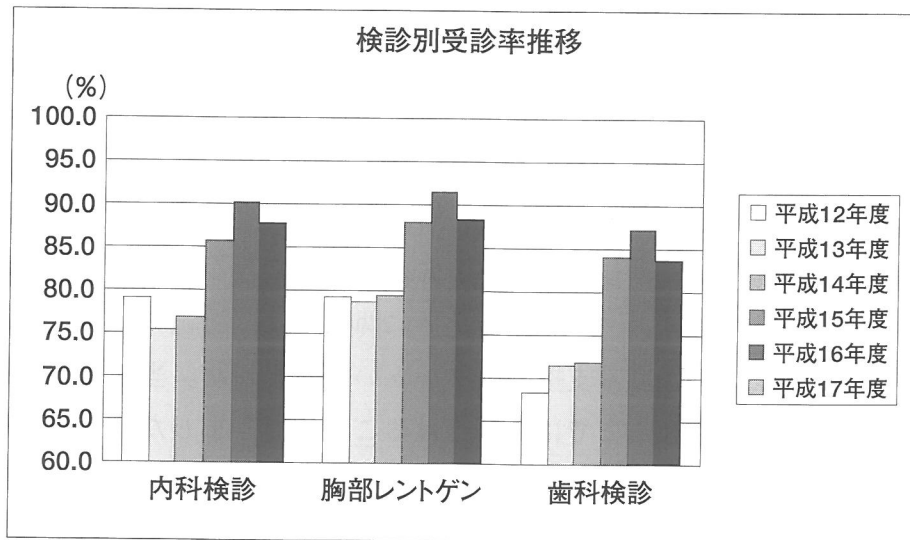
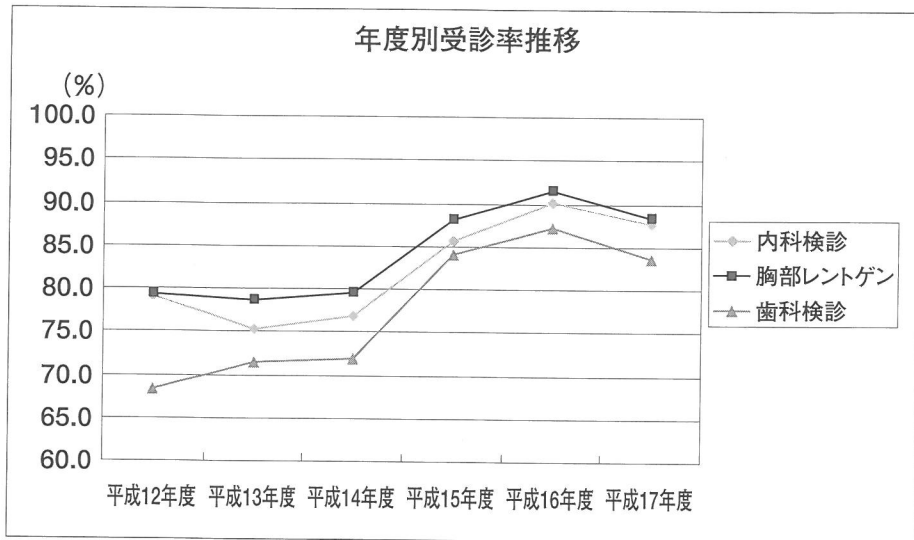
末筆になりましたが、運営委員会委員として、事務局職員の立場から微力ながらセンターの充実・発展に努める所存です。今後とも皆様のご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

Ⅵ 学生健康診断受診状況の推移

1. 年度別受診率

(%)

内訳	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
内科検診		79.0	75.3	76.8	85.7	90.2	87.7
胸部レントゲン		79.3	78.7	79.5	88.0	91.5	88.3
歯科検診		68.3	71.5	71.9	84.1	87.2	83.7

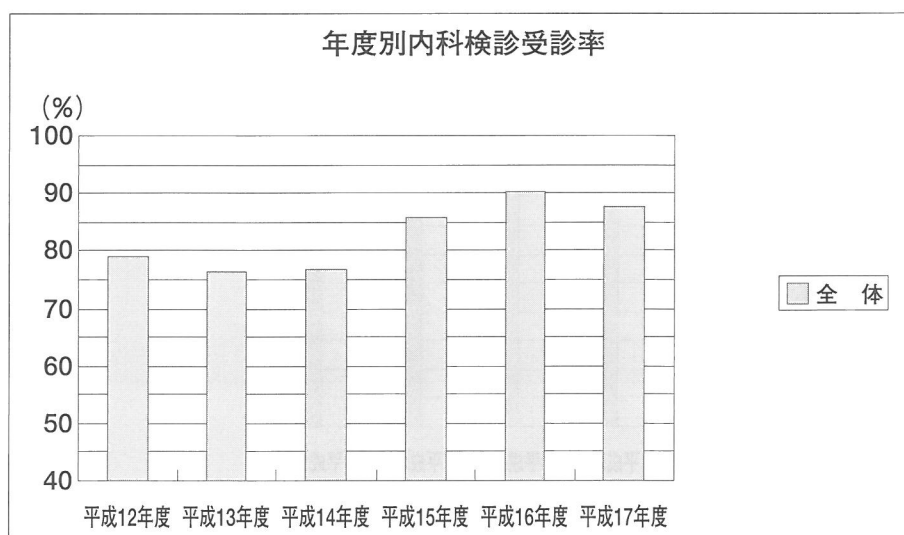
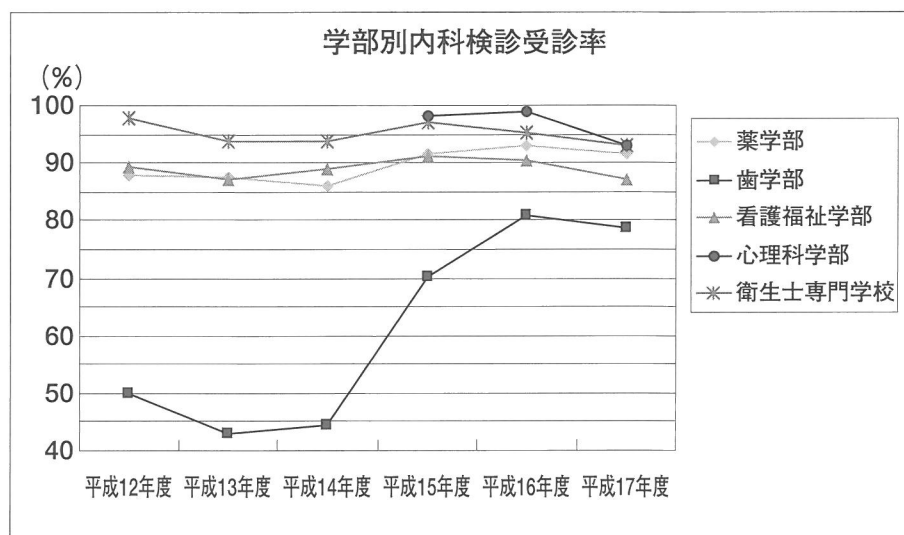


2. 学部別・検診別受診状況

①内科検診

(%)

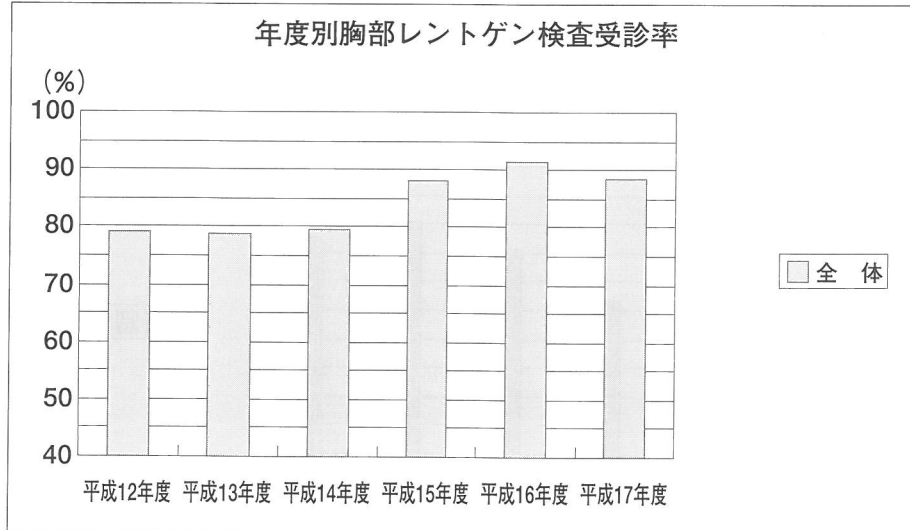
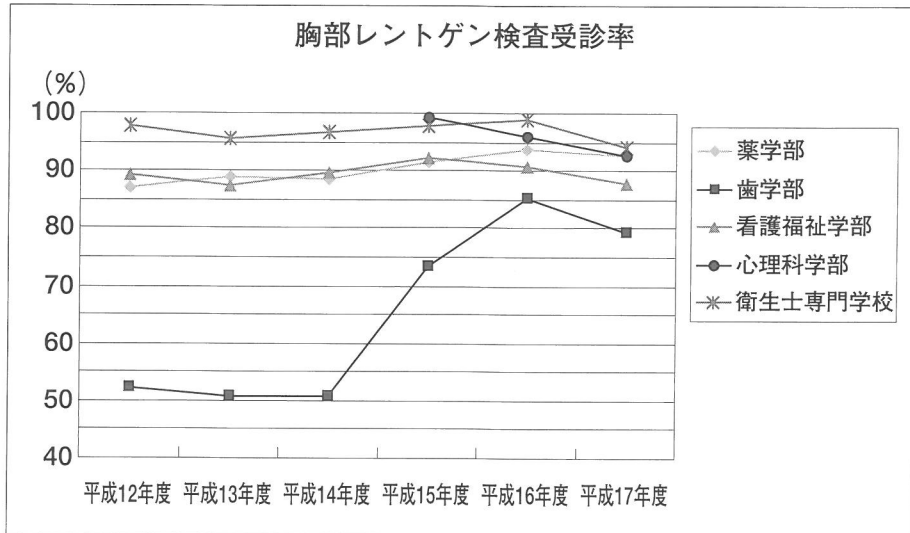
年度	学部	全体	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	衛生士専門学校
平成12年度		79.0	87.8	49.9	89.5	—	97.8
平成13年度		76.3	87.6	42.9	87.3	—	93.6
平成14年度		76.8	86.1	44.5	89.0	—	93.9
平成15年度		85.7	91.4	70.2	91.0	98.0	97.2
平成16年度		90.2	93.1	80.8	90.3	99.0	95.2
平成17年度		87.7	91.5	78.8	87.0	92.9	93.1



②胸部レントゲン検査

(%)

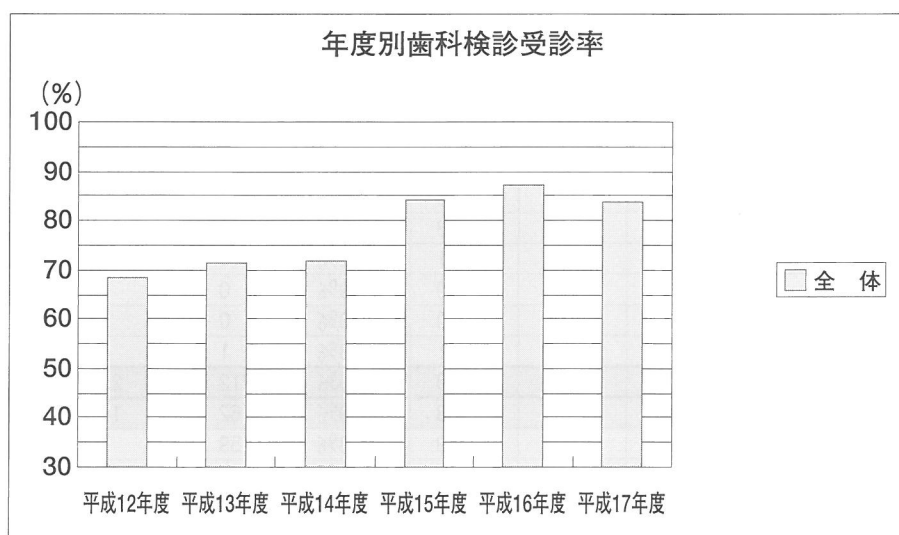
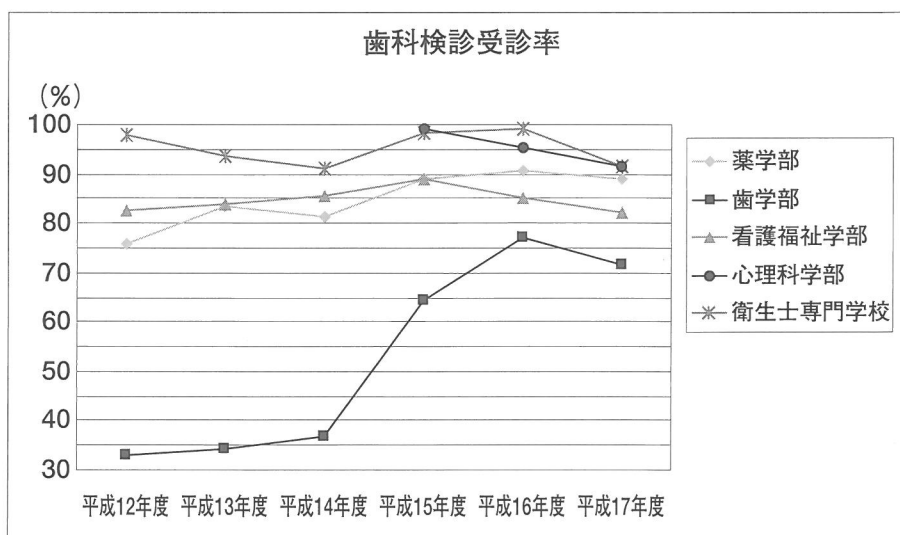
年度	学部	全体	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	衛生士専門学校
平成12年度		79.3	87.2	52.1	89.3	—	97.8
平成13年度		78.7	88.9	50.6	87.3	—	95.4
平成14年度		79.5	88.5	50.8	89.7	—	96.5
平成15年度		88.0	91.4	73.2	92.1	99.1	97.6
平成16年度		91.5	93.6	85.0	90.8	96.0	99.0
平成17年度		88.3	92.6	79.4	87.6	92.7	93.9



③ 歯科検診

(%)

年度	学部	全体	薬学部	歯学部	看護福祉学部	心理科学部	衛生士専門学校
平成12年度		68.3	75.8	32.9	82.5	—	97.8
平成13年度		71.5	83.4	34.4	83.9	—	93.6
平成14年度		71.9	81.4	37.0	85.6	—	91.2
平成15年度		84.1	88.9	64.5	89.0	99.1	98.4
平成16年度		87.2	90.8	77.3	85.3	95.2	99.0
平成17年度		83.7	89.0	71.7	82.1	91.6	91.6



Ⅶ 平成17年度学生健康診断受診状況

1. 健康診断受診状況（学生）

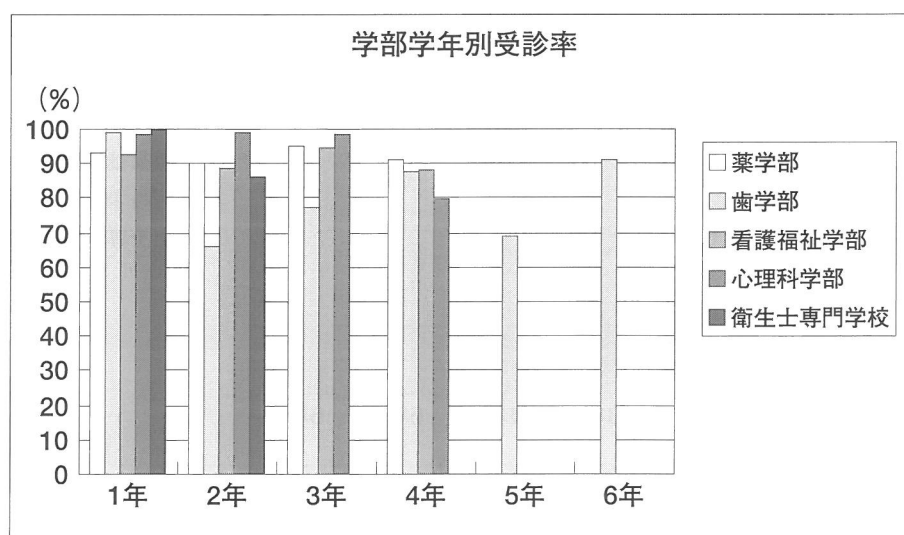
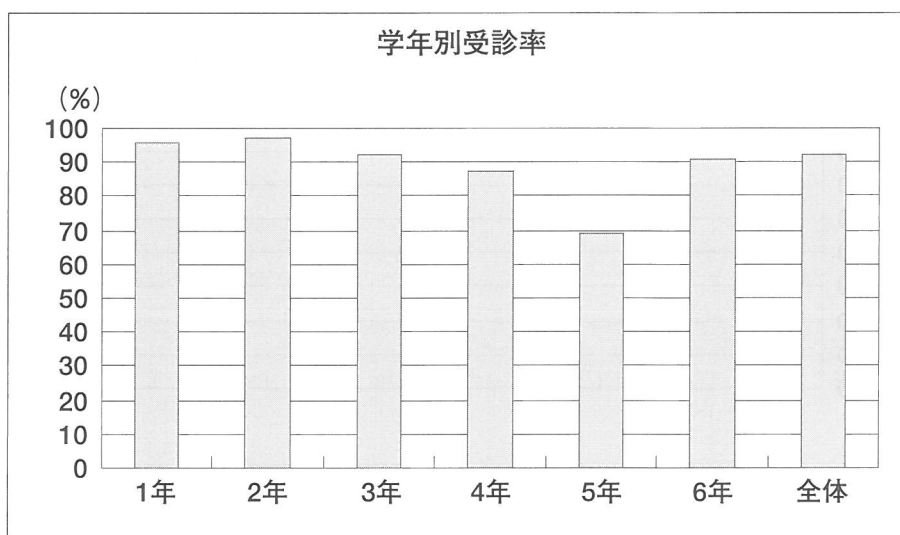
学部	学年	学生数 対象者	内科検診				胸部X線検査			
			受診者			受診率	受診者			受診率
			定期	他	計		定期	他	計	
薬学部	1年	165	154		154	93.3%	156		156	94.5%
	2年	174	157		157	90.2%	159		159	91.4%
	3年	166	158		158	95.2%	160		160	96.4%
	4年	208	188	1	189	90.9%	185	5	190	91.3%
	修士1年	23	21		21	91.3%	21		21	91.3%
	修士2年	30	27		27	90.0%	28		28	93.3%
	博士1年	1	0		0	0.0%	0		0	0.0%
	博士2年	2	1		1	50.0%	1		1	50.0%
	博士3年	4	0		0	0.0%	1		1	25.0%
小計	773	706	1	707	91.5%	711	5	716	92.6%	
歯学部	1年	91	90		90	98.9%	90		90	98.9%
	2年	97	64		64	66.0%	66		66	68.0%
	3年	115	89		89	77.4%	92		92	80.0%
	4年	99	87		87	87.9%	86		86	86.9%
	5年	94	65		65	69.1%	63		63	67.0%
	6年	112	102		102	91.1%	102		102	91.1%
	博士1年	9	3		3	33.3%	3		3	33.3%
	博士2年	6	3		3	50.0%	4		4	66.7%
	博士3年	11	2		2	18.2%	2		2	18.2%
博士4年	12	4		4	33.3%	5		5	41.7%	
小計	646	509	0	509	78.8%	513	0	513	79.4%	
看護福祉学部	看護1年	96	93		93	96.9%	94		94	97.9%
	2年	91	89		89	97.8%	90		90	98.9%
	3年	96	94		94	97.9%	94		94	97.9%
	4年	107	104		104	97.2%	104		104	97.2%
	臨福1年	88	77		77	87.5%	80		80	90.9%
	2年	88	70		70	79.5%	71		71	80.7%
	3年	97	89		89	91.8%	89		89	91.8%
	4年	88	68		68	77.3%	67		67	76.1%
	修士1年	24	11	2	13	54.2%	11	2	13	54.2%
	修士2年	23	11		11	47.8%	11		11	47.8%
	博士1年	1	0		0	0.0%	0		0	0.0%
	博士2年	4	0		0	0.0%	0		0	0.0%
	博士3年	12	1		1	8.3%	1		1	8.3%
小計	815	707	2	709	87.0%	712	2	714	87.6%	
心理科学部	心理1年	65	63		63	96.9%	62	1	63	96.9%
	2年	60	59		59	98.3%	59		59	98.3%
	3年	57	56		56	98.2%	55		55	96.5%
	4年	82	80		80	97.6%	80		80	97.6%
	言語1年	56	56		56	100.0%	56		56	100.0%
	2年	55	55		55	100.0%	55		55	100.0%
	3年	58	57		57	98.3%	57		57	98.3%
	4年	60	32	1	33	55.0%	32	1	33	55.0%
	修士1年	12	12		12	100.0%	12		12	100.0%
	修士2年	12	12		12	100.0%	12		12	100.0%
	博士1年	3	1		1	33.3%	1		1	33.3%
博士2年	1	0		0	0.0%	0		0	0.0%	
小計	521	483	1	484	92.9%	481	2	483	92.7%	
衛生士 専門学校	1年	66	66		66	100.0%	66		66	100.0%
	2年	65	56		56	86.2%	57		57	87.7%
	小計	131	122	0	122	93.1%	123	0	123	93.9%
計	2,886	2,527	4	2,531	87.7%	2,540	9	2,549	88.3%	

2. 学部、学年別・検診別受診状況

①内科検診学年別受診状況（学部生）

(%)

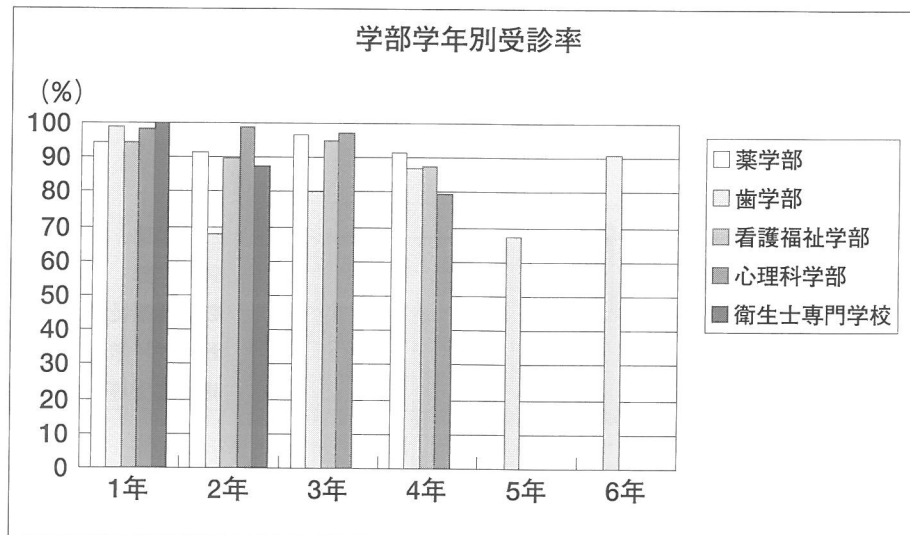
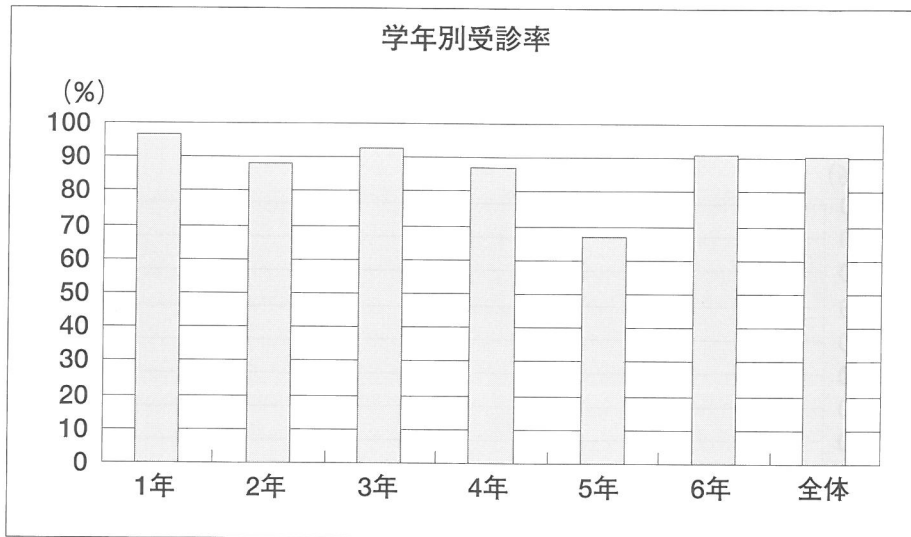
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
薬学部	93.3	90.2	95.2	90.9			92.3
歯学部	98.9	66.0	77.4	87.9	69.1	91.1	81.7
看護福祉学部	92.4	88.8	94.8	88.2			91.1
心理科学部	98.3	99.1	98.3	79.6			93.1
衛生士専門学校	100.0	86.2					90.8
全体	95.5	97.5	92.2	87.1	69.1	91.1	92.0



②胸部レントゲン検診学年別受診状況（学部生）

(%)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
薬学部	94.5	91.4	96.4	91.3			93.3
歯学部	98.9	68.0	80.0	86.9	67.0	91.1	82.1
看護福祉学部	94.6	89.9	94.8	87.7			91.7
心理科学部	98.3	99.1	97.4	79.6			92.9
衛生士専門学校	100.0	87.7					93.9
全体	96.5	88.4	92.9	87.0	67.0	91.1	90.3



3. 健康診断有所見者状況（学部生）

学部	学年	内科健診					胸部X線検査					備考
		受診者	二次	所見	計	有所見率	受診者	精検	要精検率	受診	所見	
薬学部	1年	154	7	2	9	5.8%	156		0.0%			
	2年	157	8	2	10	6.4%	159	1	0.6%	1		
	3年	158	4	1	5	3.2%	160	1	0.6%	1	2	
	4年	189	12	6	18	9.5%	190	1	0.5%	1	2	
	修士1年	21			0	0.0%	21	1	4.8%	1		
	修士2年	27			0	0.0%	28		0.0%			
	博士1年	0			0		0					
	博士2年	1			0	0.0%	1		0.0%			
歯学部	博士3年	0			0		1		0.0%			
	1年	90	2		2	2.2%	90	1	1.1%	1		
	2年	64	3	3	6	9.4%	66		0.0%		1	
	3年	89		5	5	5.6%	92	1	1.1%			
	4年	87	3	3	6	6.9%	86		0.0%			
	5年	65	3	2	5	7.7%	63	1	1.6%	1		
	6年	102	3		3	2.9%	102		0.0%		1	
	博士1年	3			0	0.0%	3		0.0%			
	博士2年	3			0	0.0%	4		0.0%			
	博士3年	2			0	0.0%	2		0.0%			
看護福祉学部	博士4年	4			0	0.0%	5		0.0%			
	看護1年	93	9	1	10	10.8%	94	1	1.1%	1		
	2年	89	3		3	3.4%	90		0.0%		1	
	3年	94	3	2	5	5.3%	94		0.0%		1	
	4年	104	4		4	3.8%	104		0.0%			
	臨福1年	77	2	2	4	5.2%	80	1	1.3%	1		
	2年	70	4		4	5.7%	71		0.0%			
	3年	89	6		6	6.7%	89		0.0%			
	4年	68	5		5	7.4%	61		0.0%			
	修士1年	13	2		2	15.4%	12		0.0%			
	修士2年	11	1		1	9.1%	12		0.0%			
	博士1年	0			0		0					
	博士2年	0			0		0					
博士3年	1			0	0.0%	1		0.0%				
心理科学部	心理1年	63	1		1	1.6%	62		0.0%			
	2年	59	1		1	1.7%	59	1	1.7%	1		
	3年	56			0	0.0%	53		0.0%			
	4年	80	1	1	2	2.5%	78		0.0%		1	
	言語1年	56	1		1	1.8%	56		0.0%			
	2年	55	2		2	3.6%	55		0.0%			
	3年	57			0	0.0%	57		0.0%			
	4年	33			0	0.0%	14		0.0%			
	修士1年	12		1	1	8.3%	12		0.0%			
	修士2年	12		1	1	8.3%	12		0.0%			
	博士1年	1			0	0.0%	1		0.0%			
	博士2年	0			0		0					
校専衛生門学	1年	66	6	4	10	15.2%	66		0.0%			
	2年	56	2	1	3	5.4%	57		0.0%			
	計	2,531	98	37	135	5.3%	2,519	10	0.4%	9	9	

4. 血液検査結果

①血液検査有所見者状況（学部生）

学部・学年	検査項目 対象者	受診状況		有所見状況		肝機能		血球他				血小板		備考
		受診者	受診率	有所見者	率	有所見	率	貧血	率	その他	率	有所見	率	
薬学部 4年	208	185	88.9%	45	24.3%	15	8.1%	12	6.5%	15	8.1%	9	4.9%	
歯学部 3年	115	98	85.2%	37	37.8%	15	15.3%	15	15.3%	16	16.3%	4	4.1%	
歯学部 4年	99	97	98.0%	17	17.5%	11	11.3%	6	6.2%	5	5.2%	4	4.1%	
看護福祉学部 3年	97	95	97.9%	23	24.2%	1	1.1%	14	14.7%	8	8.4%	4	4.2%	
看護福祉学部編入 3年	3	3	100.0%	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	
臨床心理学科編入 3年	3	3	100.0%	3	100.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%	
言語聴覚療法学科編入 3年	8	8	100.0%	2	25.0%	2	25.0%	0	0.0%	1	12.5%	0	0.0%	
薬学研究科修士 1年	17	15	88.2%	3	20.0%	1	6.7%	2	13.3%	0	0.0%	1	6.7%	
看護福祉学研究科修士 1年	24	11	45.8%	3	27.3%	1	9.1%	0	0.0%	1	9.1%	1	9.1%	
衛生士専門学校 1年	66	66	100.0%	21	31.8%	2	3.0%	10	15.2%	3	4.5%	10	15.2%	
衛生士専門学校 2年	65	63	96.9%	15	23.8%	4	6.3%	1	1.6%	7	11.1%	6	9.5%	
4月分小計	705	644	91.3%	171	26.6%	54	8.4%	60	9.3%	58	9.0%	41	6.4%	
看護学科 1年	96	93	96.9%	17	18.3%	2	2.2%	6	6.5%	7	7.5%	4	4.3%	
臨床福祉学科 1年	88	83	94.3%	35	42.2%	2	2.4%	13	15.7%	18	21.7%	10	12.0%	
臨床福祉学科 2年	88	80	90.9%	20	25.0%	2	2.5%	8	10.0%	7	8.8%	6	7.5%	
臨床心理学科 2年	60	58	96.7%	18	31.0%	6	10.3%	4	6.9%	6	10.3%	5	8.6%	
言語聴覚療法学科 2年	55	55	100.0%	14	25.5%	2	3.6%	7	12.7%	5	9.1%	2	3.6%	
心理科学研究科修士 1年	12	5	41.7%	2	40.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	
9月分小計	399	374	93.7%	106	28.3%	14	3.7%	39	10.4%	44	11.8%	27	7.2%	
薬学部 3年	166	165	99.4%	52	31.5%	13	7.9%	13	7.9%	8	4.8%	18	10.9%	
計	1,270	1,183	93.1%	329	27.8%	81	6.8%	112	9.5%	110	9.3%	68	5.7%	

* 4月分小計は春に検査実施分、9月分小計は秋に検査実施の各学部学年の計。薬学部3年は12月実施

②感染症検査結果（学部生）

検査項目 学部・学年	肝炎							感染症								備考	
	対象数	HBs-Ag		HBs-Ab		HCV-3		風疹		ムンプス		水痘		麻疹			
		(+)	率	(+)	率	(+)	率	(+)	率	(+)	率	(+)	率	(+)	率		
薬学部4年	185	2	1.1%	3	1.6%	0	0%										
歯学部3年	98	1	1.0%	3	3.1%	0	0%										
歯学部4年	97	2	2.1%	6	6.2%	0	0%										
看護学科3年	97	0	0.0%	51	52.6%	0	0%	97	88	90.7%	88	90.7%	93	95.9%	91	93.8%	
臨床福祉学科編入3年	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0%										
臨床心理学科編入3年	3	0	0.0%	0	0.0%	0	0%										
言語聴覚療法学科編入3年	8	0	0.0%	1	12.5%	0	0%										
薬学研究科修士1年	15	0	0.0%	0	0.0%	0	0%	15	13	86.7%	13	86.7%	15	100.0%	11	73.3%	
看護福祉学研究科修士1年	11	0	0.0%	8	72.7%	0	0%	11	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%	
衛生士専門学校1年	66	0	0.0%	0	0.0%	0	0%										
衛生士専門学校2年	63	0	0.0%	47	74.6%	0	0%										
4月分小計	646	5	0.8%	119	18.4%	0	0%	123	112	91.1%	112	91.1%	119	96.7%	113	91.9%	
看護学科1年	93	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	93	83	89.2%	69	74.2%	82	88.2%	73	78.5%	
臨床福祉学科1年	83	0	0.0%	2	2.4%	0	0.0%										
臨床福祉学科2年	80	0	0.0%	3	3.8%	0	0.0%										
臨床心理学科2年	58	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%										
言語聴覚療法学科2年	55	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%										
歯学部3年	104	2	1.9%	2	1.9%	0	0.0%										
歯学部4年	87	2	2.3%	5	5.7%	0	0.0%										
心理科学研究科修士1年	5	0	0.0%	2	40.0%	0	0.0%										
9月分小計	565	4	0.7%	14	2.5%	0	0.0%	93	83	89.2%	69	74.2%	82	88.2%	73	78.5%	
薬学部3年	165	0	0.0%	4	2.4%	0	0.0%										
計	1376	9	0.7%	137	10.0%	0	0.0%	216	195	90.3%	181	83.8%	201	93.1%	186	86.1%	

* 4月分小計は春に検査実施分、9月分小計は秋に検査実施の各学部、学年の計。薬学部3年は12月実施

* HBs-Ag：HBV（B型肝炎）ウイルスそのもので（－）がのぞましい
 HBs-Ab：HBVウイルスの抗体、ウイルス中和抗体で（＋）がのぞましい
 HCV-3：HCV（C型肝炎）ウイルスそのもので（－）がのぞましい

Ⅷ 平成18年度行事予定

1. 行事予定

【平成18年】

- 4月5日(水) 血液検査(歯4年)
7日(金) 入学式
19日(水) 血液検査(心・言編入3年)
20日(木) 血液検査(歯3年・衛1年・院(看護)1年)
21日(金) 血液検査(看3年・衛2年・福編入3年・院(薬学)1年)
28日(金) 保健管理センター運営会議
- 5月23日(火) 学生・教職員健康診断(札幌あいの里キャンパス)
24日(水) 学生・教職員健康診断(当別キャンパス)
25日(木) 学生・教職員健康診断(当別キャンパス)
26日(金) 学生・教職員健康診断(当別キャンパス)
- 6月17日(土) 九十九祭(大学祭)
18日(日) 九十九祭(大学祭)
オープンキャンパス
- 8月2日(水) オープンキャンパス
- 9月上旬 血液検査(歯学部・看護福祉学部・心理科学部)
- 10月8日(日) オープンキャンパス
中旬 保健管理センター運営会議

【平成19年】

- 1月20日(土) センター入試
21日(日) センター入試
3月16日(金) 卒業式(予定)

あとがき

保健管理センター長

歯学部内科学講座

家 子 正 裕

やっと北海道医療大学保健管理センター年報の第3号を発刊することができました。前任の安河内太郎教授が1998年7月に創刊号を、翌1999年7月に第2号を発刊して下さっておりましたが、私がセンター長になり、兼任でもあったことよりついつい第3号の発刊が遅れてしまいました。

この第3号は、前号までのように論文・エッセイ形式ではなく、当大学および附属施設における当センターの利用状況や健康診断の結果を中心に報告書形式で作成しました。まず、当センターがあること、そして年々利用者が増加していることを皆さんにお分かりいただきたいと考えております。特に、利用者の中には精神的に追い詰められた学生が年々増えてきており、これからしっかりとした対策を講じなければならない重大な問題と考えます。あくまでも私見ですが、カウンセリングのみならず当施設において精神神経科専門医によるコンサルトの必要もあると考えます。

健康診断の受診状況およびB型肝炎ウイルス（HBV）抗体の検査結果より、どの学部の学生が医療と真剣に向かい合っているのかが分かると思います。言い過ぎかも知れませんが、自らの健康管理なくして他人の健康管理などあり得ません。是非この報告書を参考にし、皆さんが自らの健康維持を、そして組織としての健康管理をしっかりと実践していただければ幸いと存じます。保健管理センターは、学生さんのためだけのものではありません。教職員の健康管理も責任を持って行っております。教職員の方々も気軽に保健管理センターに立ち寄り、血圧測定やその他の健康相談などしていただきたく存じます。

当大学の保健管理センター年報は、可能であれば他大学の保健管理センターのように年1回の発行にしたいと考えております。そして、医療を専門とする教育機関として、大学保健上有用な資料と大学としての取り組みを満載した全国に送付できる年報を作成したいと考えております。今後の皆様のご協力を心からお願いすると共に、今回の発刊にあたってご尽力いただきました諸氏に感謝致しまして、あとがきと致します。

平成18年4月17日

北海道医療大学 保健管理センター年報 (Vol. 3)

発行日：平成18年 7月 1日

発行者：家子正裕（保健管理センター長）

編集：北海道医療大学

保健管理センター運営委員会

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL 0133-23-1211(代表)

印刷：山藤三陽印刷株式会社

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1

TEL 011-661-7163(代表)

Annals of Health Counseling
and Assessment Center

(Vol. 3) July. 1, 2006

Health Sciences University of Hokkaido